



SIX SENSES

DOURO VALLEY

名作映画の舞台となったシックスセンスズ ドウロバレー 「ポルトガルの歴史的庭園」に認定 ホテルゲストを対象に、歴史的庭園を訪問する特別なツアーを企画

2020年7月

映画のロケ地としても有名なポルトガルの[シックスセンスズ ドウロバレー](#)は、Portuguese Association of Historical Gardens (ポルトガル歴史的庭園協会、AJH)の名誉ある品質証を獲得しました。

現在、シックスセンスズ ドウロバレーとして運営されている歴史的なワイナリー「キンタ・デ・ヴァーレ・デ・アブラウン (アブラハム溪谷の屋敷)」は、ユネスコの世界遺産に登録された世界最古のワイン産地に位置します。1993年、ポルトガル映画の巨匠として名高いマノエル・デ・オリヴェイラ監督が、当屋敷の名を冠した映画を公開し、不朽の名声を得ました。そして、この度の認定により、ポルトガル政府観光局が出資するAJHのプログラム「Historic Douro Gardens Route (ドウロの歴史的な庭園を巡るルート)」に参画します。

シックスセンスズ ドウロバレーの総支配人であるニック・ヤーネルは、当屋敷の歴史を次の通り説明しています。「アブラハム溪谷の魅力的な歴史は、18世紀にまでさかのぼることが出来ます。当初、セルパ・ピメンテル家の先祖にあたる貴族騎士アントニオ・コレイア・レイタオン・ダ・フォンセカが所有していました。その後、大地主、脚本家、詩人、子爵、ワイン生産者、農学者、ポートワイン協会の会長など、何世代にもわたり受け継がれました。1991年、アグスティナ・ベッサ・ルイスの小説「アブラハム溪谷」が出版されると、ポルトガル文化全体を象徴するアイコン的な場所になりました。数年後には、この小説を原作にした映画も制作されました。しかし、1997年の火災発生後、敷地は荒廃しました。セルパ・ピメンテル家によって売却される10年前の出来事でした。

2013年、エクスポーラー・インベストメンツ・オブ・リスボン社が取得し、シックスセンスズ ホテル リゾート スパグループとホテルマネジメント契約を締結しました。サステナビリティとウェルネスを中心に展開するシックスセンスズならではの経営理念に加え、“コミュニティ・フォレスト”イニシアティブ、大規模なパーマカルチャー、森林庭園の運営など、地域の貴重な生態系を保護する一連のプログラムを実施したいという熱い思い、そして高い実施能力を有していたことが、選定の大きな理由でした。3,500種の植物が生息する11エーカー (4.5ヘクタール)の森林公園も保護対象に含まれています。」

シックスセンスズのコミュニティチームは、これまで屋敷を取り囲む庭園の再生支援に取り組んできました。その結果、健全な土壌の回復と共に、生物多様性が劇的に向上しています。菌類から、ハチの巣、何百本もの果樹、昆虫や鳥、野生のイノシシやジェネットまで多岐にわたります。また、敷地を彩る2つの0.25ヘクタールのオーガニック農園では、美味しくヘルシーなハーブ、果物、野菜を栽培しています。収穫量は数千キロにも達し、レストランやバーのほか、シックスセンスズ スパで使用しています。

指定公園は、オーク、アービュタス、カエデ、ブルーシーダー、アトランティック・スプルース、エキゾチックなヤシ、モミの巨木などが豊かに生い茂り、葡萄畑が広がるドウロ溪谷の風景の中で際立っています。

シックスセンスズ ドウロバレーの景観設計を手がけたジョアナ・ネット氏は、「この森は、19世紀に人気を博

した古典的な森林庭園の貴重な例です。森の精神と基本的要素を守りながら、10棟の美しい建物、滝、湖が配され、人々が楽しめるよう秘密の休憩場所やピクニックスポットも備えています。」と、説明しています。

シックスセンスズ ドウロバレーは、現在、同地域に残るユニークな遺産を保護するために、ホテルの庭園とAJHに所属する他の大邸宅の庭園を訪問する特別なツアーを企画しています。2003年に設立されたAJHは、ポルトガル全土の歴史的な庭園の所有者と専門家から構成されており、AJHのイニシアチブは、ポルトガル政府観光局からの助成金を受けています。

AJHの会長であるテレサ・アンドレセン氏は、「由緒ある歴史的な庭園は、ポルトガル全土に広く点在しています。しかし、このような形態の遺産は壊れやすく、多額の資金と専門的なトレーニングを必要とするため、その価値を評価し保全することが困難です」と、説明しています。さらに、「アブラハム溪谷の屋敷に品質証を授与し、その歴史的な庭園の重要性を認定できることを大変喜ばしく思います。私たちは、シックスセンスズ ドウロバレーのチームと密接に連携し、遺産の保護と育成を支援します。他の歴史的庭園の管理者のみならず、造園家、建築家、美術史家、農学者、林業家、弁護士、経済学者など、補完的な分野における専門家からの情報や知識も役立てていただけるでしょう」と、述べています。

AJHは、カンファレンスの開催、各種保全トレーニングの提供、文化観光の振興など、ポルトガルの遺産の認知度向上と保護を目的とした、さまざまな活動を提供しています。

詳しくは、メール reservations-dourovalley@sixsenses.com、電話+351 254 660 600、または、ウェブサイト www.sixsenses.com/DouroValley をご覧ください。



シックスセンスズ ドウロバレー ポルトガルの森に育つ熱帯樹種
[高解像度の画像はこちら](#)



シックスセンスズ ドウロバレー ポルトガルのオーガニック菜園
[高解像度の画像はこちら](#)



シックスセンスズ ドウロバレー ポルトガルのオーガニック菜園
[高解像度の画像はこちら](#)

About Quinta Vale de Abraão

アブラハム溪谷は、貴族騎士アントニオ・コレイア・レイタオン・ダ・フォンセカ (1754 年～1837 年) が所有していました。アントニオは、塔と剣勲章及びキリスト騎士団の称号を併せ持つ貴族騎士、ベルナルド・ペレイラ・レイタオン・デ・カルヴァーリョ (1792 年～1880 年) の父にあたります。ベルナルドは、多数の公債を管理し、多くの農園を所有する大地主でした。そして、彼の長女であるジュリア・ペトロニーラ・ペレイラ・レイタオン・デ・カルヴァーリョ (1824 年～1875 年) が同地を受け継ぎました。1844 年、ジュリアは、才能あふれるゴヴェイア第二子爵ジョゼ・フレイレ・デ・セルパ・ピメンテル (1814 年～1870 年) と結婚しました。1856 年、法学部出身の判事であり、脚本家、詩人としても活躍した彼は、ポルトガル王国の世襲貴族となりました。

その後、「キンタ・デ・ヴァーレ・デ・アブラウン (アブラハム溪谷の屋敷)」は、三男であるジョゼ・フレイレ・デ・セルパ・レイタオン・ピメンテル (1865 年～1932 年) に引き継がれました。ジョゼと共に屋敷に住んだ妹のマリアは、当時としては驚異的な 102 歳という天寿を全うしました！ジョゼは、アブラハム溪谷の屋敷から約 3km、クンブレス教区に隣接する「キンタ・ダ・パシエカ」を購入し、ワイン生産に専念しました。この二つのワイナリーは、息子のエドゥアルド・デ・メンディア・フレイレ・デ・セルパ・ピメンテル (1913 年～2003 年) が継承しました。エドゥアルドは、葡萄の栽培を専門とする農学者であり、ポートワイン協会の会長も務めました。エドゥアルドと結婚した、彼の従妹にあたるルイサ・マリア・ヴァン・ツェラー・ペレイラ・パーリャ・デ・セルパ・ピメンテルは、敷地の庭園と森の管理に生涯をささげました。

この間、ワイナリーは大規模な改修が実施されました。2010 年から 2014 年 3 月まで、ポルトガル史跡庭園協会の会長を務めた景観設計家のテレサ・シャンベルは、「この庭園は、ジュリア・ペトロニーラの妹であるローラ・ペレイラ・レイタオンの努力の結果です。アルフレド・インファンテ・ペサーニャと再婚したローラは、アブラハム溪谷に長く住み、特に庭園と森の手入れに尽力しました。」と述べています。

1991 年、ポルトガルの著名な女流作家アグスティナ・ベッサ・ルイスが「アブラハム溪谷」を出版すると、ポルトガル文化全体を象徴するアイコン的な場所になりました。そして、1993 年には、ポルトガル映画の巨匠、マノエル・デ・オリヴェイラ監督によって映画化されました。しかし、1997 年、屋敷内で火災が発生し、火災の被害は庭園と森まで及びました。セルパ・ピメンテル家は改修のために売却し、2007 年に、ホテル・アクアプラ・ドウロバレーがオープンしました。ホテルは、2013 年にエクスポーラー・インベストメントが買収し、2014 年に閉館しました。その後、ウェルネスとサステナビリティの哲学を掲げるシックスセンスズが、ホテルマネジメント契約のパートナーに選定され、運営を担うことになりました。シックスセンスズの哲学は本プロパティでも徹底しており、ガーデンテラスと屋敷に隣接する菜園を再生して開設した 2 つのオーガニック菜園で栽培した旬の食材をふんだんに使用した食事を提供しています。

About Six Senses Douro Valley

シックスセンスズ ドウロバレーは、ユネスコの世界遺産に登録された世界最古のワイン産地に位置し、風光明媚なドウロ川の景色をお楽しみいただけます。19 エーカーの広さを誇る敷地に、総数60室の客室、スイート、ヴィラを擁し、ローカルのヴィンテージワインを取り揃えたワインセラーを完備する3軒のレストランは、地元の食材を活かしたメニューが自慢です。

シックスセンスズ スパは、10室のトリートメントルームに加え、屋内プール、屋外プール、ジムなど、充実した施設を備え、ドウロバレーならではのセラピーや数日間にわたるプログラムを提供しています。屋外のヨガパビリオンは、個人、グループを問わずご利用いただけます。同地域中央に位置する渓谷では、ハイキングから、ドライブ、ウォータースポーツまで、多彩なアクティビティとエクスカージョンを満喫していただけます。

About Six Senses Hotels Resorts Spas

シックスセンスズ (Six Senses)、エバソン (Evason)、シックスセンスズ スパ (Six Senses Spas) のブランド名にて、現在21ヶ国、18軒のリゾートとホテル、そして29軒のスパを運営しています。このほか、27軒の開発プロジェクトも進行中です。シックスセンスズは、IHG® (インターコンチネンタル ホテルズグループ) ファミリーの一員です*。

Six Senses Hotels and Resorts: 地域コミュニティとの共生、サステナビリティ、エモーショナル・ホスピタリティ、ウェルネス、独創性にあふれたデザインに対する徹底したコミットメントで、世界をリードしています。極上の離島リゾート、山岳リトリート、アーバンホテルなど、いずれのプロパティにおいても、旅の真の目的を感じることが出来き、ゲスト自身や周囲の人々、そしてゲストを取り巻く世界と再びつながることができるよう、感覚を呼び覚ますことをビジョンとしています。

Six Senses Spas: 幅広いホリスティックウェルネス、リジュベネーション、ビューティートリートメントを提供しています。全てのシックスセンスズリゾートに併設されているほか、14軒の独立型スパを運営しています。感性を大切にしたローテクな要素と、ハイテクな技術の両方を兼ね備えたアプローチで、ゲスト一人ひとりに合わせたパーソナルパスへ導き、より深いウェルビーイングを実現します。

Six Senses Residences: シックスセンスズならではのリゾートライフスタイルを満喫できるアメニティを取り揃え、オーナーの個性が反映された快適なプライベートヴィラやアパートメントで、自然の素晴らしさを活かした贅沢な暮らしをお楽しみいただけます。美味しい食事や先駆的なウェルネスプログラム、さらに世界中のリゾートでの特別なステータスを含む多彩な特典が付いたレジデンスは、何世代にもわたり価値が高まっていく長期的な投資です。

Evason: シックスセンスズの理念を継承しつつ、家族連れや友人同士の旅行からハネムーンまで幅広い客層のゲストに満喫していただけるカジュアルなラグジュアリーリゾートです。現在、2軒のリゾートをエバソン (Evason) ブランド名にて運営しています。ご家族でお楽しみいただける思い出に残る体験を幅広く提供しています。

*2020年3月現在

リゾートの予約: Six Senses Hotels Resorts Spas 0120-921-324

問い合わせ: japan@sixsenses.com (日本語対応)

メディア関連の問い合わせ: ケントス・ネットワーク 03-3403-5328 / info@kentosnetwork.co.jp